



ひまわり

花鶏学苑ニュースレター



第11号

令和2年

1月8日発行

©花鶏学苑

北上山地民俗資料館見学



十一月十日、バスに乗って北上山地民俗資料館、新里生涯学習センター等の施設を巡り、宮古市の歴史や文化に触れる学習を行いました。

最初に訪れたのは宮古市川井地区(旧川井村)にある「北上山地民俗資料館」。同施設は一九九四年十一月にオープンした施設で、川井地域で暮らしてきた人々を支えてきた

さまざまな民俗資料、およそ七五〇〇点が収蔵され、そのうち二五〇〇点が展示されています。また、宮古市内各地の有形民俗資料、国指定重要有形民俗文化財も所蔵されているとても素晴らしいところです。

展示されていた数々の民俗資料を通じて、豊かな自然環境の中で、私たちの祖先がその自然を敬いながらたくましく生き抜いてきたということがとてもよく分かりました。また、人々の知恵や工夫がこめられた展示資料をとおして、先人たちの暮らしや仕事に対する情熱、生き方に触れ、学びを深めることができました。

最後に立ち寄った「宮古市新里生涯学習センター」では、宮古市新里地区ゆかりの偉人たちの歩みを知ることができました。特に興味深かったのは鞭牛和尚の展示コーナー。鞭牛和尚は、宝永七年に現在の宮古



▲昔の知恵の輪「くめんだけ」づくりに挑戦!

市和井内の農家に生まれた僧侶で、四十二歳から七十二歳で座禅往生するまでの約三十年間、現在の宮古市と盛岡市をつなぐ国道一〇六号の平津戸〜墓目間をはじめとした、総延長四〇〇キロメートルにおよぶ道路を開削したと伝えられる偉人です。宮古市では学校の授業でも学ぶ最も有名な郷土の偉人です。

鞭牛和尚が生きた南部藩時代には、三年に一度は凶作にみまわられて

いました。その当時の宮古街道は、人馬の交通さえ困難で、毎年数多くの犠牲者も出す難道でした。鞭牛和尚は、そうした社会生活の障害をとり除くための道路工事に生涯をかけて取り組み、そこに住む人々に希望を与え、地域発展の基礎を作った先覚者です。

今回の見学を通して、改めてその功績の偉大さに感銘を受け、郷土の偉人を改めて知り、その生涯から多くのことを学ぶことができました、とても貴重な機会となりました。



▲はじめて目にする道具に興味津々!?



卒業生も激励に!?

高等部・2学期終業式

十二月二十九日、高等部では2学期の終業式を行いました。式の前には、学苑長先生から、勉強や課外活動、スクリーリングと色々と頑張った高等部生全員に、努力賞として表彰状が授与されました。

その後、保護者の方にもご出席頂いての終業式を挙行了しました。そして今回はスペシャルゲストが!

今年の春に新潟の大学へ進学した卒業生が後輩を激励しに来てくれました。自分の生い立ちや高校生活で得たこと、後輩へのメッセージをわざわざパワーポイントを駆使してプレゼン資料を作ってくれました!

卒業式後の交流会では、激励に来てくれた卒業生が、これまで色々と精神的にもつらい日々もあったが、第一学院高校へ入学して、プラス思考で物事を考え、色々なことにチャレンジして、それを達成することで大きく成長できたこと。そして、たくさんの人たちに支えられて今の自分があることなどを、語ってくれました。



▲花鶏学苑高等部での日々が成長に繋がったことを語る卒業生

高校在学中も、一生懸命に取り組む子でしたが、より大きく頼もしく成長した、卒業生の姿に感無量、大感激で、保護者の方よりも職員のほうが感激してしまいました(笑)

在校生にとっても、実り多い卒業生との交流の機会となり、よい終業式となりました。

三学期も一人ひとり飛躍の学期となるよう、職員一同も全力でサポートしていきたいと思えます。

論理言語力検定に合格!



▲見事に3級に合格した伊野波盛翔くん(高等部1年)

花鶏学苑では、「論理言語力検定」を活用した学習(カリキュラム)を総合学習の一環として導入しています。同検定は、社会で活躍するために必要な力を「語彙運用力」「情報理解力」「社会理解力」の三つの領域を育成・測定するもので、ベネッセ・コーポレーション様が実施しています。

今年度の目標の一つとして、毎日対策ワークを取り組んでいた、伊野波盛翔くん(高等部1年)が、見事に三級合格をすることができました。全国平均点よりも高い分野もあり、本人もピツクリー人生初の検定合格という嬉しい出来事でした。この達成実感を積み重ねて、前向きにこれからも色々とチャレンジしてほしいと思います。合格おめでとう!

PhotoGallery

連携している塾とネットで繋ぎ、ライブ授業を行いました。



鯨と海の科学館で鯨について学びました。



試行錯誤しながら、陶芸に初挑戦!

